

(参考様式1)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(平成29年12月分)

サービス種類(通所介護相当サービス)

事業所・施設名(通所介護〇〇〇〇〇)

職種	勤務形態	氏名	第1週							第2週							第3週							第4週							4週の合計	週平均の勤務時間	常勤換算後の人数	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
			金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木				
管理者	B	通所太郎	①	④		①	①	①	①	①	④		①	①	①	①	①	④		①	①	①	①	①	④		①	①	①	①	160	40	3.0	
生活相談員	B	通所太郎	①	④		①	①	①	①	①	④		①	①	①	①	①	④		①	①	①	①	①	④		①	①	①	①	160	40		
生活相談員	A	通所次郎01	①	①		④	①	①	①	①	①		④	①	①	①	①	①		④	①	①	①	①	①		④	①	①	①	160	40	4.2	
介護職員	D	通所次郎02	④	④		④	②	④	②	④	④		④	②	④	②	④	④		④	②	④	②	④	④		④	②	④	②	32	8		
介護職員	A	通所次郎03	④	①		①	①	①	①	④	①		①	①	①	①	④	①		①	①	①	①	④	①		①	①	①	①	160	40		
介護職員	A	通所次郎04	①	④	休	①	①	①	①	①	④	休	①	①	①	①	①	④	休	①	①	①	①	①	④	休	①	①	①	①	160	40		
介護職員	A	通所次郎05	①	①		①	④	①	①	①	①		①	④	①	①	①	①		①	④	①	①	①	①		①	④	①	①	160	40		
介護職員	A	通所次郎06	①	①		①	①	①	④	①	①		①	①	①	④	①	①		①	①	①	④	①	①		①	①	①	④	160	40		
介護職員	C	通所次郎07	①	④		①	④	①	④	①	④		①	④	①	④	①	④		①	④	①	④	①	④		①	④	①	④	96	24		1.0
看護職員	C	通所次郎08	④	①		④	①	④	①	④	①		④	①	④	①	④	①		④	①	④	①	④	①		④	①	④	①	64	16		1.0
看護職員	A	通所次郎09	①	①		①	④	①	①	①	①		①	④	①	①	①	①		①	④	①	①	①	①		①	④	①	①	160	40		
機能訓練指導員	D	通所次郎02	④	④		④	③	④	③	④	④		④	③	④	③	④	④		④	③	④	③	④	④		④	③	④	③	32	8	0.2	

備考1 *欄には、当該月の曜日を記入してください。

2 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、4週間分の勤務すべき時間数を記入してください。勤務時間ごとあるいはサービス提供時間単位ごとに区分して番号を付し、その番号を記入してください。

(記載例1—勤務時間 ①8:00~17:00、②8:00~12:00、③13:00~17:00、④休日)

(記載例2—サービス提供時間 a 9:00~12:00、b 13:00~16:00、c 10:30~13:30、d 14:30~17:30、e 休日) ※複数単位実施の場合、その全てを記入のこと。

3 職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載し、「週平均の勤務時間」については、職種ごとのAの小計と、B~Dまでを加えた数の小計の行を挿入してください。

勤務形態の区分 A:常勤で専従 B:常勤で兼務 C:常勤以外で専従 D:常勤以外で兼務

4 常勤換算が必要な職種は、A~Dの「週平均の勤務時間」をすべて足し、常勤の従業者が週に勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。

5 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

6 当該事業所・施設に係る組織体制図を添付してください。

7 各事業所・施設において使用している勤務割表等(既に事業を実施しているときは直近月の実績)により、職種、勤務形態、氏名及び当該業務の勤務時間が確認できる場合は、その書類をもって添付書類として差し支えありません。